

令和4年8月近江八幡市教育委員会定例会（要旨）

1. 開催日時 令和4年8月24日（水） 午前9時30分～12時00分

2. 開催場所 近江八幡市文化会館2階会議室2

3. 出席委員

教育長	大喜多 悦子
教育長職務代理者	久家 昌代
委員	安倍 映子
委員	西田 佳成
委員	大更 秀尚

4. 事務局出席者

教育部長	西川 仁司
教育総務課長	岡村 祥子
教育部次長兼学校教育課長	森 茂次
学校教育課参事	川端 哲巳
生涯学習課長	東 繁
教育部次長兼近江八幡市立図書館長	奥村 恭代
学校給食センター長	森村 肇
スポーツ推進課長	太田 明文
国スポ・障スポ推進課長	森野 克彦
子ども健康部幼児課長	畑 明宏
教育総務課長補佐	澤 千央
教育総務課副主幹	田村 俊幸

5. 会議を傍聴した者 0人

6. 会議次第

【議案】

○議第35号 令和5年度から使用する小中学校特別支援学級教科用図書の新採択につき議決を求めることについて

- 議第36号 令和4年度教育費に関する9月補正予算の要求について
- 議第37号 近江八幡市教育委員会表彰被表彰者の選定について

【協議事項】

- 近江八幡市民生委員児童委員推せん会委員の選出について
- 幼稚園・保育所・認定こども園及び小中学校用務員業務委託事業者選定委員会設置要綱の制定について
- 近江八幡市立健康ふれあい公園スケートパークセクション購入事業者選定委員会設置要綱の制定について

【報告事項】

- 近江八幡市中央公民館講座10周年記念講演の開催について
- 近江八幡市学校給食費に関する条例の一部改正について
- 近江八幡市学校給食費に関する条例施行規則の一部改正について
- 近江八幡市学校給食費等補助金交付要綱の制定について

7. 議事の経過

(1) 開 会 (日程確認)

- ・教育長が8月定例会の開会を宣言
- ・出席委員定数の確認
- ・日程について 承認
- ・非公開案件

議案

- 議第36号 令和4年度教育費に関する9月補正予算の要求について
- 議第37号 近江八幡市教育委員会表彰被表彰者の選定について

非公開とすることの提案 非公開

(2) 会議録の承認

7月定例会の会議録 承認

(3) 教育長挨拶および報告

夏季休業も最終段階を迎え、2学期が間もなく開始される。学校には、コロナの心配もあるが、2学期は子どもたちが活躍する場を保障してもらいたいと考えている。

前回の定例会以降から様々な会議等に出席した。就学相談会については8日間に亘り、島小学校を会場として127名の相談があった。教育支援委員や安倍委員にも貢献いただいている。丁寧に相談事項に対応いただいた。コロナ

等の理由から期間内にできなかったものもあるが、今週の相談で全て終了する予定である。それぞれの課題についてまとめをされると思うが、それぞれの委員の相談に対する積極的な姿勢についてはありがたいと感じている。

8月5日にはいじめ問題専門委員会を開催した。学校教育課と社会福祉士、臨床心理士、大学の先生で検討していただいた。近江八幡市のいじめの認知については、認知の多い順に保護者からの訴え、本人からの訴え、教職員の発見、アンケートの順になっている。県では、本人からの訴えが1番で、次に教職員の発見、保護者からの訴え、アンケートの順となっている。国はアンケートが一番多い。アンケートの仕方や認知の部分について研究する必要があると感じているが、そのようなこともこの委員会で話題にさせていただき、検討している。委員になっていただいている先生方も様々なお考えがあり、議論を深めていただいた。今後も子どもたちのためにアンケートをどのように活かしていくのかを検討していきたい。

8月8日月曜日には管理職の夏季研修会を開催した。小中学校の校長、教頭、主幹教諭に参加いただき、3名からレポート提案があり、その後グループに分かれて、子どもの学ぶ力を向上させるために、管理職としてどのようにリーダーシップを発揮していくのかということについてディスカッションを行った。率直に皆さんが意見を出されて、2学期からの運営に活かしてもらえると感じた。

8月18日には教育重点取組研修会を文化会館において教職員を対象に実施した。内容としては、第2期教育大綱の説明に続き、八幡中学校の授業改善をテーマにした校内研修での取組について発表していただいた。その後は、尾野三千代先生に講演いただいた。参加は若手の教員については悉皆の部分はあるが、その他は希望で200名程度であった。より多くの先生に参加してもらいたいと考えている。以前は全員研修会として全員の出席を求めていたが、今回から方向性を変えた。教育委員会としても今後継続できるようにしていきたいと考えている。また、その日の午後には尾野三千代先生に読書活動推進の講演会をしていただいた。図書館員やボランティア、司書にも参加していただいた。「ボランティアの在り方」、「本というものは」、「そもそも子どもとは」について見直すきっかけとなった。

8月20日には滋賀県第25回中学生広場「私の思い2022」が開催された。本市の代表で選出された八幡中学校の生徒に「おもしろい大人」という題で意見発表していただいた。少し緊張されていたが元気に発表され、優良賞を受賞された。

8月22日には都市教育長・部長会議があり、県教育長や県知事に要望する内容を各市町の教育長や部長で検討し、どのような内容を県へ要望するのかを協議した。その中で、近江八幡市の要望について話をしてきた。大体のところは本市の意図を理解し、汲み取っていただいたと思っているが、文言につい

ては修正が入るかもしれない。他市とも相通じるような言い方にしようという部分もあった。最終的には担当である草津市がとりまとめされると思う。

滋賀県の3団体で作成された小冊子を市内4中学校の1年生と教職員に寄付していただいた。近江の郷土愛があふれる内容となっており、「近江を制する者は天下を制する」というタイトルで歴史的な読み物である。

(4) 議事

◆議第35号 令和5年度から使用する小中学校特別支援学級教科用図書の採択につき議決を求めることについて

【事務局説明】

まず、本日教育委員会定例会で採択していただくに当たり、調査研究並びに協議選定していただいた滋賀県教科用図書第3採択地区協議会の協議経過について報告する。

令和4年5月18日に竜王町役場において第1回協議会を開催し、規約、事業計画、予算案の承認及び調査研究部長や専門研究委員等の選任が行われた。第1回協議会を受け、5月25日に調査研究部会部長会で今後の調査研究の計画や方法等を確認し、5月下旬から7月下旬にかけて小学校特別支援部会、中学校特別支援部会の2つの部会に分けて調査研究に取り組んでいただいた。

8月17日に第2回協議会を開催し、本日報告する教科用図書を選定していただいた。

ここで言う特別支援学級とは、知的障がいを持つ児童生徒が在籍する特別支援学級のこと、知的障がいを伴わない児童生徒については通常学級で使用する教科用図書に準じることとされている。

特別支援学級で使用する教科用図書については通常学級で使用する教科用図書のように文部科学省で検定された上で各出版社から提供を受けた教科用図書から選択されるものではなく、通常本屋で販売されている一般図書から選択されている。一般図書は絶版や出版社の都合により次年度に供給されないことがある。また、特別支援学級の調査研究は全教科を対象とするため、一度に複数の教科を調査研究することは難しく、一度採択された教科書が長く使われ、内容が古くなってしまふことがあることから毎年調査研究されている。

【小学校1～6年国語科】

○改訂版ゆっくり学ぶ子のためのこくご2（かたかな・かん字の読み書き）

・カタカナや漢字に初めて出会う段階から、それを使った言葉や文章を読む段階まで、読み書きの力が積み上がるよう工夫されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿っている。

・カタカナや漢字に初めて出会う段階から、それを使った言葉や文章を読む段階まで、配列が工夫されており、分量も適切である。

- ・カタカナや漢字の書き順をわかりやすく示すなど工夫されており、学習を効果的に進めることができるよう配慮されている。
- ・文字の大きさが見やすく編集されており、表現も表記も適切である。
- ・明るい配色で美しい挿絵が描かれており、すっきりとわかりやすいページ構成である。
- ・少しずつ言語活動を広げ、文章表現の向上に繋がるように構成されており、地域の実情に合ったものである。

○もじのえほん かんじ1

- ・1年生で学習する身近な漢字が取り上げられており、学習指導要領に示された目標や内容に沿っている。
- ・大きな挿絵とそれを説明する文章や漢字の成り立ちでわかりやすく構成されており、配列も適切である。
- ・漢字やカタカナにはふりがながつけられており、漢字の学習だけでなく、音読教材としても活用でき、繰り返し学習し定着を図るのに適している。
- ・楽しいお話とわかりやすい絵で編集されており、表現や表記も適切である。
- ・明るい配色で美しい挿絵が描かれており、すっきりとわかりやすいページ構成である。
- ・挿絵やお話から知らず知らずのうちに漢字を理解できる内容となっており、地域の実情に合ったものである。

○もじのえほん かんじ2

- ・1～2年生で学習する身近な漢字が取り上げられている。漢字にはいろいろな読み方や使い方があることが理解できるように工夫されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿っている。
- ・大きな挿絵とそれを説明する文章や漢字の成り立ちでわかりやすく構成されており、配列も適切である。
- ・漢字やカタカナにはふりがながつけられており、挿絵と文章から学習を効果的に進めることができるよう配慮されている。
- ・音読みは赤、訓読みは青ですっきり色分けされており、表現や表記も適切である。
- ・明るい配色で美しい挿絵が描かれており、すっきりとわかりやすいページ構成である。
- ・1匹の猫を主人公とした物語となっていて、言語活動を豊かにする内容となっており、地域の実情に合ったものである。

【質 疑】

○安倍委員

- 小さい字で記載されている部分と大きい字で書かれている部分があるように

感じるが、文字サイズは同じか？

○学校教育課

様々となっている。

○安倍委員

難しい漢字と簡単な漢字で違うのかと思ったが。フォントは何ポイントか。

○学校教育課

ポイントまでは把握できていない。

○安倍委員

弱視に近い方が読まれる場合、拡大教科書までではないが、ある程度大きい文字等、配慮してあげた方が良い。習う字は大きく、読む字は小さくなっていると感じた。少し重たい。

○教育長

昨年度は安倍委員に参加していただいていたが、今年は何冊もある中で3冊増やされた。個に応じて、知的障がいをもつ子どもでも発達の状況が異なるので、その子どもに合った教科書を用意しようという形で地区全体で考えていただいている。

○大更委員

以前は☆本をとというのがあった。

○教育長

今も☆本は算数と音楽で選定されている。それ以外にも一般図書の中から子どもの発達に応じた本が選定されている。

○安倍委員

☆本はどちらかと言うと特別支援学校向きと思っているが、ここで選定されているのであれば、発達の程度によって逆になってしまっはいけないと思う。何か線引きはないのか？

○学校教育課

一般図書を選ぶ子どももいれば、通常の教科書を選ぶ子もいる。

○教育長

通常学級の教科書の方がふさわしいという子もある。

○学校教育課

交流学級で一緒に学ぶ教科などはみんなと同じ教科書が良いという場合もある。

○安倍委員

調査研究の先生は、特別支援学級でどの本が子どもに選ばれたのかということは知っておられるのか。

○学校教育課

今までの資料などを参考に選んでおられる。

○教育長

実際に、竜王町、日野町、東近江市と近江八幡市の特別支援学級で、ここで採択はするが、実際にどのように使われているのかというのは今年調べられた。

○学校教育課

各校の実情に応じて選んでおられるということがわかった。

○教育長

子どもたちも多種多様なので、結果としてはいろいろだった。そのなかでも一般図書は多く選ばれていた。

○担当課

通常の教科書を選んでおられるところもあった。

○安倍委員

結局、保護者も子どももみんなと同じ本が欲しいという想いというのは大事なことだと思う。ただ、一般図書の方がふさわしい内容だったりする。このような本は学校に大体1冊ずつあるのか。

○大更委員

☆本は学校に置いていただいている、それを特別支援学級の本棚などに入れて活用していただくということはあった。

○安倍委員

先生方に新たに教材を作り上げていただくというのが普通で、ドリルなどはコピーをもらって使っておられる。

○学校教育課

高額にならないものというのは以前から言われている。

○大更委員

どうしても教科用図書との値段の差が大きくなってしまう。

【採 決】

小学校特別支援学級教科用図書（小学校1～6年国語科）は
同成社の「改訂版ゆっくり学ぶ子のためのこくご2（かたかな・

かん字の読み書き）」

全員賛成（5人）

あかね書房の「もじのえほん かんじ1」

全員賛成（5人）

あかね書房の「もじのえほん かんじ2」

全員賛成（5人）

を採択することに決定。

【小学校 1～6年 算数科】

○ゆっくり学ぶ子のためのさんすう1（量概念の基礎、比較、なかま集め）

- ・量概念、比較、弁別、仲間集め、1対1対応といった数概念の基礎についての理解を深めるという、学習指導要領に示された目標や内容に沿っている。
- ・生活に密着した挿絵が多く、興味関心をもって取り組めるものとなっており、配列も適切である。
- ・基本的な日常生活や遊びが取り入れられ、基礎的な算数の概念を、生活の中

で身につけられるよう工夫されており、学習を効果的に進めることができる。

・量概念、比較、弁別、仲間集め、1対1対応といった数概念の基礎についての理解を深める内容となっており、表現や表記も適切である。

・明るい配色で美しい挿絵が描かれており、すっきりとわかりやすいページ構成である。

・ゲームなどの遊びの中で、具体的操作を通して体験的に学んでいくことができるよう工夫されており、地域の実情に合ったものである。

○かずのえほん

・ものの数を正しく数えたり表したりする能力を育成するという、学習指導要領に示された目標や内容に沿っている。

・文字がすべてひらがなとカタカナの表記となっていて、わかりやすいものとなっており、配列も適切である。

・「かぞえるコーナー」と「考えるコーナー」で構成されており、考える力を高めながら、学習を効果的に進めることができるよう配慮されている。

・どのページもすっきりしたわかりやすいイラストで構成されており、考える力を高めながら、学習を効果的に進めることができるよう配慮されている。

・明るい配色で美しい挿絵が描かれており、考えやすいページ構成である。

・発達の状況や特性から考え、かぞえたり考えたりと楽しく活用できる内容となっており、地域の実情に合ったものである。

【質 疑】

○安倍委員

色で示してあるとイメージしやすいが、白黒だとイメージしにくいし、知的障がいの子は見にくいと思う。

○学校教育課

色ばかりになるとけばけばしくなってしまう。

○安倍委員

通常学級はカラーページが多いと思う。白ばかりだと発達障がいの子どもにとっては非常に見にくいと思う。色別にしてあげるとわかりやすいのと思う。視覚提示というような配慮も大事だと思う。

○学校教育課

いただいた意見は参考にさせていただく。

【採 決】

小学校特別支援学級教科用図書（小学校1～6年算数科）は

同成社の「ゆっくり学ぶ子のためのさんすう1」

全員賛成（5人）

ひさかたチャイルドの「かずのえほん」

全員賛成（5人）

を採択することに決定。

【小学校 1～2年 生活科】

生活科については、昨年度1冊選ばれており、更に選択を広げるためにもう1冊選定し、全体で2冊となる。

○親子で楽しんで、驚くほど身につく！こどもせいかつ百科

・集団や社会の一員として適切にいらしていくために大切なマナーやルールが示されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿っている。

・漢字にはすべてふりがながつけられていて、わかりやすいものとなっており、配列も適切である。

・朝、昼、夜、学校生活と状況に応じて生活する力を身につけることができるように工夫されており、学習を効果的に進めることができるよう配慮されている。

・朝、昼、夜、学校生活にわけて、集団や社会の一員として適切に暮らしていく上で、つけたい力が示されており、表現や表記も適切である。

・明るい配色で美しい挿絵が描かれており、すっきりとわかりやすいページ構成である。

・日常生活で大切なマナーやルールが挿絵で効果的に示されており、楽しく活用できる内容となっており、地域の実情に合ったものである。

【質 疑】

○安倍委員

個人生活と集団生活の一番大事な部分がしっかり押さえられている。

○大更委員

すべてが網羅されている。

○安倍委員

先に保護者が見れば買われるかもしれない。副読本のようなものか。

○学校教育課

一般の教科書、昨年度採択されたもの、今回の本から選ぶという形になる。

○教 育 長

通常教科書は安いので、一般図書をもらっていただいて、通常教科書を買っていただくこともできる。

○大更委員

生活科は交流学級主体でされることが多いので、皆と同じ教科書を使い、必要なものについてはもらっていただくということもできる。

○安倍委員

教科書の保護者への説明は入学前にされるのか。

○大更委員

事前にしておかないといけない。

○教育長

新1年生はどうだったか覚えていないが、支援学級の先生などが保護者の方々にそのようなことを話しできると良い。それでみんなと一緒にのものが欲しいと言われたときに、一般図書をもって通常の教科書を購入してもらおうという方法もあると説明できると良い。

【採 決】

小学校特別支援学級教科用図書（小学校1～2年生活科）は

講談社の「親子で楽しんで、驚くほど身につく！こどもせいかつ百科」

全員賛成（5人）

を採択することに決定。

【小学校 3～6年 保健】

昨年度までに2冊採択されていることから、今回採択されれば合計5冊になり、選択の幅を広げるものとなっている。

○はじめての「よのなかルールブック」 あんしんえほん

- ・けがや事故を起こさないための対処の仕方が取り扱われ、健康安全に関する内容がわかりやすく示されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿っている。
- ・文字がすべてひらがなかカタカナの表記となっていて、わかりやすいものとなっており、配列も適切である。
- ・けがや事故を起こさないための対処の仕方がわかりやすく示されており、学習を効果的に進めることができるよう配慮されている。
- ・病気、事故、犯罪などの身近な危険から身を守ることができるよう編集されており、表現や表記も適切である。
- ・明るい配色で楽しい挿絵が描かれており、すっきりとわかりやすいページ構成である。
- ・日常生活でよくあるけがや事故の予防のために、どのように行動すると良いかわかりやすく説明されており、地域の実情に合ったものである。

○かがくのともきゅうきゅうばこ 新版けがのてあてのおべんきょう

- ・けがをしたときの対処の仕方が取り扱われ、健康安全に関する内容がわかりやすく示されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿っている。
- ・文字がすべてひらがなかカタカナの表記となっていて、わかりやすいものとなっており、配列も適切である。
- ・楽しいイラストが描かれ、児童が興味関心をもてるよう工夫されており、学習を効果的に進めることができるよう配慮されている。

- ・具体的な手当の方法について、自分にできる場面や病院に行く場合がわかりやすく説明されていて、健康や安全、病気の予防に留意できるように編集されており、表現や表記も適切である。
- ・明るい配色で楽しい挿絵が描かれており、すっきりとわかりやすいページ構成である。
- ・日常生活でよくあるけがや事故を中心に、正しい応急措置の仕方がわかりやすく説明されており、地域の実情に合ったものである。

○たいせつなからだところ 大切なからだ・こころ もっと自分を好きになるドキドキワクワク性教育2

- ・思春期のからだやこころの成長についての初歩的な事柄が理解できるように示されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿っている。
- ・漢字にはすべてふりがながつけられていて、わかりやすいものとなっており、配列も適切である。
- ・からだやこころの成長について、わかりやすく説明されており、学習を効果的に進めることができるよう配慮されている。
- ・大人に近づく不安になる自分のからだやこころと向き合っていく方法についてもわかりやすく説明されており、表現や表記も適切である。
- ・明るい配色で美しい挿絵や写真が配置されており、すっきりとわかりやすいページ構成である。
- ・健康な生活を送るために大切なこころの成長や気持ちについて、わかりやすく紹介しており、地域の実情に合ったものである。

【質 疑】

○安倍委員

性教育の部分は親も言いにくい、教員もなかなか指導しにくい中で、わかりやすい絵もあり、ここからスタートしてもう少し前へ進む良いきっかけになると思う。通常学級でもここまで記載されているものはないと思う。

○大更委員

こんなにわかりやすい本があるのかと思った。

○安倍委員

どのような意図をもってこの本を提供しているのかという記載があり、非常に大切だと思う。

【採 決】

小学校特別支援学級教科用図書（小学校1～6年保健）は
日本図書センターの「はじめての「よのなかルールブック」あんしんえほん」
全員賛成（5人）

福音館書店の「かがくのともきゅうきゅうばこ

新版けがのてあてのおべんきょう」 全員賛成（5人）

少年写真新聞社の「たいせつなからだとこころ 大切なからだ・こころ

もっと自分を好きになるドキドキワクワク性教育2」

全員賛成（5人）

を採択することに決定。

【小学校 5～6年 家庭科】

家庭科については昨年度まで採択されていなかった。家庭科は通常、交流学級で一緒にすることが多かった。ただ、やはり教科用図書として採択すると良いという観点で今年選ばれている。

○坂本廣子のひとりでクッキング① 朝ごはんをつくろう！

- ・食材についての解説や発展的な料理が紹介されていて、食についての興味関心が高まるように工夫されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿っている。

- ・漢字にはすべてふりがながふられていて、わかりやすいものとなっており、配列も適切である。

- ・調理の準備から実際の調理方法、献立を考える、後片付けへと手順がわかりやすく示されており、学習を効果的に進めることができるよう配慮されている。

- ・朝ご飯づくりを通して調理の基本的知識や技能が身につけられるよう工夫されており、表現や表記も適切である。

- ・明るい配色で美しい挿絵が描かれており、すっきりとわかりやすいページ構成である。

- ・調理前に注意すること、包丁やまな板の安全な使い方など、衛生面や安全面への留意事項が挿絵とともにわかりやすく示されており、地域の実情に合ったものである。

【質 疑】

○大更委員

朝ごはんがあるということは、昼ごはんや晩ごはんもあるのか。

○安倍委員

②が昼ごはん、③が晩ごはん。特別の日ごはんやおべんとうというものもある。

○西田委員

大人が見るレシピ本のように詳しく記載されているので良いと思う。

【採 決】

小学校特別支援学級教科用図書（小学校5～6年家庭科）は
偕成社の「坂本廣子の一人でクッキング①朝ごはんをつくろう！」

全員賛成（5人）

を採択することに決定。

【小学校 5～6年 外国語科】

外国語科についてはこれまでに1冊採択されており、今年度3冊の採択されることにより全部で4冊から選択できるようになった。

○ふりがなではなそう！えいごえほん

- ・日常生活で使う身近で簡単な英単語を親しみながら学習できるよう工夫されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿っている。
- ・発音がひらがなで表記されていて、英語そのものが読みにくい児童やカタカナの読みが難しい児童にとってもわかりやすいものとなっており、配列も適切である。
- ・一日の流れに沿って、基本的な日常会話の場面を示しながら、関連する単語が適度な量で配置されており、学習を効果的に進めることができるよう配慮されている。
- ・食べ物や形、色、体の部位など生活の中の身近なものを英単語で取り上げており、表現や表記も適切である。
- ・明るい配色で文字の大きさも適切で、すっきりとわかりやすいページ構成である。
- ・日常生活における場面で身近なやりとりが挿絵とともに英単語で示されており、地域の実情に合ったものである。

○えいごえほん ぞうさんがっこうに行く

- ・学校生活の一日の流れに沿って身近で簡単な英単語を親しみながら学習できるよう工夫されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿っている。
- ・発音がカタカナで表記されていて、わかりやすいものとなっており、配列も適切である。
- ・ぞうの子が家族や友達との会話をする場面が日本語と英語の両方で表記されており、学習を効果的に進めることができるよう配慮されている。
- ・文房具や形、色、楽器など学校生活で活用する身近なものを英単語で編集されており、表現や表記も適切である。
- ・明るい配色で美しい挿絵が描かれており、すっきりとわかりやすいページ構成である。
- ・学校生活における場面で身近なやり取りが挿絵とともに英単語で示されており、地域の実情に合ったものである。

○ABCえほん

- ・アルファベットがわかりやすい挿絵を使って学習ができるよう工夫されている。
- ・発音がカタカナで表記されていて、わかりやすいものとなっており、配列も適切である。
- ・アルファベットが大きく表記され、学習を効果的に進められるよう配慮されている。
- ・生活で活用する身近なものを英単語で編集されており、表現や表記も適切である。
- ・生活における物事が挿絵とともに英単語で示されており、すっきりとわかりやすいページ構成である。

【質 疑】

○大更委員

中学校で筆記体は習うのか。

○学校教育課

今はない。数学ではわざわざXやYの筆記体を教え直している。

○大更委員

小学校の外国語は書くこともするのか。

○学校教育課 ある。

【採 決】

小学校特別支援学級教科用図書（小学校5～6年外国語科）は

講談社の「ふりがなではなそう！ えいごえほん」 全員賛成（5人）

あかね書房の「えいごえほん ぞうさんがっこうに行く」 全員賛成（5人）

戸田デザイン研究室の「ABCえほん」 全員賛成（5人）

を採択することに決定。

【小学校 1～6年 道徳科】

昨年度までに2冊採択されており、今年度2冊を加え4冊となる。

○子どものマナー図鑑(3) でかけるときのマナー

- ・集団や社会に関してのコミュニケーションに必要な基本のことばや行動を育てる工夫がされており、学習指導要領に示された目標や内容に沿っている。
- ・文字がすべてひらがな表記となっていて、わかりやすいものとなっており、配列も適切である。
- ・わかりやすいイラストにより視覚的な理解を深めることができるよう工夫されており、学習を効果的に進めることができるよう配慮されている。
- ・出かけたときの場面ごとに、起こりうる事象を取り上げて編集されており、

表現や表記も適切である。

・明るい配色で美しい挿絵が描かれており、すっきりとわかりやすいページ構成である。

・発達の状況や特性から考え、楽しく活用できる内容となっており、地域の実情に合ったものである。

○はじめての「よのなかルールブック」 おやくそくえほん

・社会生活を送るに当たって、必要となる基本的なことばや行動を育てる工夫がされており、学習指導要領に示された目標や内容に沿っている。

・文字がすべてひらがな表記となっていて、大事な事柄は大きな文字で強調されており、わかりやすく、配列も適切である。

・同年代の児童のイラストを用いて、視覚的な理解を深めることができるよう工夫されており、学習を効果的に進めることができるよう配慮されている。

・日常生活の様々な場面で、起こりうる事象を取り上げて編集されており、表現や表記も適切である。

・シンプルな配色で簡潔に挿絵が描かれており、すっきりとわかりやすいページ構成である。

・様々な状況にある児童に対して、特性や実態に合わせて活用できる内容となっており、地域の実情に合ったものである。

【質 疑】

○安倍委員

道徳はこの1冊で学習されるのか。

○学校教育課

通常教科書はあるが、価値項目を教えるので、教科書を使って協調性の価値を教える場合と教科書よりも子どもたちの実態に応じた別の教材を使って教える場合と色々ある。教科書で教えるというよりも教科書にある価値を様々な材料を使って教えている。

○安倍委員

道徳は大体通常学級でされるのか。

○大更委員

みんなと一緒に受けられる方が多い。

○安倍委員

このような形で生活力を高めていくことは、社会に出るときに大事だと思う。

○大更委員

交流学級の中で話をする部分もあると思うが、補足として自分たちの教室の中でこのようなことに注意しようということもあるかもしれない。

○安倍委員

通常生活と並行して使っていくことに意味があると思う。

○教育長

自己理解、思いやり、自然愛など色々ある。1冊では物足りない。意見を書いておいていただいて、通常学級の道徳とともに有効活用していただきたい。

【採 決】

小学校特別支援学級教科用図書（小学校1～6年国語科）は
偕成社の「子どものマナー図鑑(3)でかけるときのマナー」 全員賛成（5人）
日本図書センターの「はじめての「よのなかルールブック」おやくそくえほん」
全員賛成（5人）
を採択することに決定。

【中学校 1～3年 国語科】

令和5年度に供給不能になるものはないことを確認したうえで、比較的古くなってきた国語について調査研究が行われた。昨年度において知的障がいのある生徒はその特長等は個人によって様々であることから、1つの教科用図書を1学年に限定してしまうのではなく、学年をまたがって使用することとしたことを受けて、今年度は3つの教科用図書の内容を基礎として、現行の学習指導要領の内容に則してどの学年においても発展的に活用して使用できるものを追加することとなった。

○ひとりだちするための国語

・基礎を学ぶ、自分のことを伝える、いろいろなものを読む、言葉を学習する、いろいろなことを書く、国語力をつける、インタビュー、読書発表、調べて発表する、新聞をつくるという内容で学習しておきたい内容が精選され、生徒が将来自立していくためのきっかけとなるような学習内容で構成されている。

・聞く、話す、読む、書くなどを横断的に学べるように構成され、コミュニケーション能力の基礎を身につけ、会話や読書、作文などに楽しく興味が持てるような内容である。基礎編で中学校生活でのあいさつの仕方や電話の使い方、手紙や履歴書の書き方、国語力向上編では、自分のことや日本、世界のことを調べ発表する方法などがわかりやすく示され、伝えあう力を高めるよう組織的に配列されており、活用しやすい分量である。

・中学校卒業を見据え、学んだ事項を活かせる題材を取り上げて、学習が興味深く進められ、また生徒の障がいの状況や発達段階に則して、基礎的・基本的事項が指導しやすいように工夫がなされている。はがきや手紙の書き方、履歴書の書き方など今後、必要になってくる題材も多く取り入れられ、「社会科」「生活単元学習」や「総合的な学習の時間」でも活用できるようにしている。さらに、日常生活や社会生活に則した内容に合わせて漢字練習を適宜取り入れ、必要な漢字が効果的に学習でき、学力が定着するよう配慮がなされている。

・読みやすい文字の大きさに漢字はすべて読み仮名が付けられ、インタビューの仕方、新聞づくりなど、身近な活動から言語活動を広げる教材が取り上げられており、表現、表記が中学生に則したものであり、適切で正確である。

・履歴書や調べたことを発表する内容など日常生活に関係の深い事象の挿絵、図表などが、適切に取り上げられており、造本に工夫がなされている。全紙面は、黒、赤、グレーのみの配色で写真は無く挿絵を使い、資料も多めに挿入されている。この構成により、読みやすく視覚的にもわかりやすく、また本文に注意が向くよう配慮されていると考えられるが、少し物足りなさも感じられ、カラー写真等が入るとさらに興味を引き、活用しやすい本になると考えられる。

・広告や新聞の内容から文学教材を含めて構成されており、幅広く学習活動ができ、日常生活を中心にした身近な内容で、新聞の読み方や面接場面なども取り扱われ、高等養護学校への進路希望にも対応し、地域の実情に応じて、工夫した活用ができるようになっている。

【質 疑】

安倍委員 特別支援学校対象の本であるが、特別支援学級でも使えるということでは、特別支援学校としない方が、もっと幅をもって使えると思った。その辺りに親はこだわりを持ったりする。特別支援学校ではなく、特別支援学級に来ているんだと言われるので、その辺りの配慮もしてあげてほしい。社会に出るということを想定して、展望をもって作られていると感じる。

【採 決】

中学校特別支援学級教科用図書（中学校1～3年国語科）は
日本教育研究出版の「ひとりだちするための国語」 全員賛成（5人）
を採択することに決定。

◆議第36号 令和4年度教育費に関する9月補正予算の要求について（非公開）

【採 決】

議第36号 令和4年度教育費に関する9月補正予算の要求について
承認

◆議第37号 近江八幡市教育委員会表彰被表彰者の選定について（非公開）

【採 決】

●協議事項

◎近江八幡市民生委員児童委員推せん会委員の選出について

【事務局説明…教育総務課】

福祉政策課より委員交代による推薦依頼があった。教育関係者から2名の選出ということであるが、今回は委員交代によるもので1名の選出をお願いする。任期は本来3年間であるが、今回は前任者の残任期間となり、令和5年9月30日までとなる。年間1～2回程度の委員会への出席をお願いする。

【質 疑】

○大更委員

私がさせていただく。

○全 委 員

お願いする。

【協議結果】

大更委員を選出

◎幼稚園・保育所・認定こども園及び小中学校用務員業務委託事業者選定委員会設置要綱の制定について

【事務局説明…教育総務課】

令和2年度から20校園の用務員業務を外部委託している。用務員業務については、3年間の期間満了となる。これまで大きなトラブルもなく、雇用形態の方向性を大きく見直す必要はないと考えている。令和5年度以降もこれまでと同様に外部委託として進めていく予定であるため、制定するもの。

【質 疑】

○安倍委員

外部委託になってから業務内容が変わってしまっていて学校園が困っておられるということはないか？

○教育総務課

学校園からの意見をもとに仕様書を作成しているので、今のところ大きなトラブルもなく進められている。

◎近江八幡市立健康ふれあい公園スケートパークセクション購入業者選定委員会設置要綱の制定について

【事務局説明…スポーツ推進課】

スケートパークについては、6月議会で議決を得てセクションの予算が付いた。いよいよスケートパークの業者についてプロポーザル方式で選定していきたいことから要綱を制定するもの。委員は大学教授でスケートボードに精通されている方を選出したいと考えている。

【質 疑】

○なし

●報告事項

◎近江八幡市中央公民館講座10周年記念講演の開催について

【事務局報告…生涯学習課】

資料に基づき報告。

6月議会において肉付け予算として近江八幡市中央公民館講座10周年記念事業ということで、井村雅代氏の講演会を10月1日土曜日に14時から近江八幡市文化会館大ホールで開催する。定員はコロナ禍であることから定数の半分の600程度を想定している。チラシについては9月広報に併せて全戸配布を予定している。関係機関等へもチラシを配布し、ポスターも作成したので周知を図りたい。申し込みは9月1日から順次受付させていただき、応募を受け付けた後に申込者にはがきを配布し、はがきをもって参加いただく形を考えている。終了時刻は16時を予定している。

【質 疑】

○教 育 長

井村さんに聞きたいことを募集されるということだが、どのように活用されるのか

○生涯学習課

一方的な講演ではなく、司会者を想定しているので、司会者からこのような質問があったと進めていただき、井村氏に質問に答えていただく形を考えている。

◎近江八幡市学校給食費に関する条例の一部改正について

近江八幡市学校給食費に関する条例施行規則の一部改正について

近江八幡市学校給食費等補助金交付要綱の制定について

【事務局報告…学校給食センター】

資料に基づき報告。

条例については6月市議会に上程し、7月25日に可決していただいた。これに合わせて条例施行規則の改正と補助金交付要綱を制定させていただいた。これに伴い、保護者の皆様に8月29日に全員に周知を含めて配っていただくため、8月22日に学校へ配布させていただいた。

【質 疑】

なし

8. その他

教育総務課：11月3日（祝）教育委員会表彰式

教育相談支援センター設計業務の委託業者の決定

・・・計画工房 I.T(株)

9. 閉会

教育長が8月定例会の閉会を宣言